

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開

研究課題名	小児期発症てんかんの病因、治療、長期予後に関する研究
所属科	神経科
研究責任者	浜野晋一郎
研究期間	2015年4月1日～2020年3月31日
研究概要	<p>小児期にはてんかんを発症する頻度が高く、その病因は多岐にわたる。てんかんの治療は、一般には抗てんかん薬による内科的治療が主体であるが、食事療法、てんかん外科治療などのより専門的治療も確立されている。小児期発症のてんかんは、80%で発作抑制が可能と言われていた一方で、てんかん患者における認知行動の異常などの精神的合併症が問題になることがある。</p> <p>そこで、小児期発症てんかんの病因、治療、長期予後を調査することにより、てんかん診療に有意義な情報をもたらし、てんかん患者が質の高い日常生活を過ごせる一助になりえると考えられる。</p> <p>対象は、新生児期から18歳までの小児期に発症したてんかん患者で、当センターで診療を行っている方を対象とする。性別、年齢、既往歴、家族歴、病因、発作症状、血液/尿/髄液検査結果、画像検査結果、生理機能検査結果、心理検査、治療方法、予後（運動障害、知的障害、認知障害、精神障害など）などの情報を連結不可能な匿名化を図った上で症例集積を行う。</p> <p>患者および家族は、研究に参加することを断る権利を有し、断ったことによる不利益は一切存在しない。</p>
倫理的配慮・個人情報保護の方法について	<p>本研究は、日常診療業務で認められている医療行為が行われた患者を対象としており、診療録に基づいた後方視的な研究であり、患者への不利益および危険性はないと考える。また、個人を特定できるような情報収集は行わないため、個人が社会的危険に暴露される可能性はない。</p> <p>本研究は当センター倫理委員会の承認をすでに得ている。</p>
研究の問合せ先	<p>埼玉県立小児医療センター内研究責任者：浜野 晋一郎 埼玉県立小児医療センター 神経科 〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 2100 番地 TEL: 048-758-1811</p>
結果の公表について	集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表する。
利益相反について	本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はない。